

『テニピン』実施レポート

学校名	愛西市立西川端小学校	実施日	8/4,5,7,25,26,28
担当教員名	佐藤貴子	実施学年/人数	5年生・40名
学校学級紹介	<p>愛知県愛西市西川端小学校は、愛知県の一帯西にあり、木曾川を挟んで、岐阜県・三重県との境に位置する。海拔0メートル地帯の低地にあり、周りを田畑に囲まれている。その土地利用から、愛西市は、レンコンの産地となっている。児童数は221名。学級数は普通クラス9クラス。特別支援クラス3クラスがある。</p> <p>担任する5年1組は、男子23名・女子16名、合計39名の単学級である。体育の授業は、特別支援の児童1名を含み、40名で行っている。体育の授業が、好きな児童が多く、体育の時間を楽しみにしている。学級全体として、前向きに挑戦する雰囲気があり、明るく、元気なクラスである。今、子どもたちが夢中になっているのは、「将棋」「百人一首」である。コロナ・熱中症防止のため、休み時間も外に出て自由に遊べないという状況の中、教室でブームになっている。ちなみに、体育の授業も、数々規制がある。今回のテニピンは、接触がないので、できることになった。感染防止のため、軍手をして行き、手洗いの徹底をして行った。</p>		
実施内容	<p>1時間目・・ラケットの使い方・一人打ちの練習(サーブ) 2時間目・・一人打ちの練習・ペアでの続け打ち 3時間目・・一人打ちの練習・ペアでの続け打ち・試しゲーム 4時間目・・ペアでの続け打ち・ゲーム 5時間目・・ペアでの続け打ち・ゲーム 6時間目・・ペアでの続け打ち・ゲーム * 全6時間完了</p>		
指導のポイント	<p>続けることができなければ、途切れしまい、ゲームもできない。まずは、ペアになって、ボールを続けることに前半時間をかけ、練習した。苦手な子たちは、自分でボールを弾ませ、相手に向かって打つことをさせた。ボールが弾むところを予想し、走り込み、「ポン・パ」「ポンポン・パ」のリズムで打つことを教えた。ポンが弾む音・パが打つ音。動きを音声化すると、リズムよく打てると、考えた。それでも、子どもの経験から、レベルの違いがあるので、前半は、「ペアを変えなさい」といふような人と組ませたが、後半からは「自分と似たような力の人とペアになりなさい」と、固定した。ゲームは、A級・B級・C級・D級と分け、同じようなレベルのペアでゲームをさせた。ラリーが何回続くかをさせ、回数で、リーグ分けをした。このことは、得意な子には、続かないラリーにイライラすることなく、緊張感のある楽しいゲームとなり、苦手な子たちは、遠慮することなく、失敗しても、のびのびと楽しくゲームすることができ、よかった。試合前後の礼も教えた。</p>		
感想・印象 今後の実施計画	<p>子どもたちは、とても楽しそうで、喜んでいて、何がいいか考えたとき、一番は、交代で打ち合うことができることだ。ボール運動の苦手な子も、次は自分の番だとわかるから、ボールに向かっていくことができる。ペアの子は、相手が打ちやすいように、自分の位置を考える。練習や試合を見ていても、慣れてくると、自然にペアの子の名前を呼び、打ち合っていた。また、「ドンマイ!」「ナイス!」と、声を掛け合っていた。二番目によかったと思うことは、手にラケットをはめているので、手で打っている感覚で、ボールを打てるということだ。パトミントクラブの顧問なので、わかる。小学生にとって、ラケットにあてることは、なかなか難しいこと。まして、体育全90時間のうち、「ショートテニス」にあてられる時間は6時間である。6時間の中で、ラリーを続け、簡単なゲームまでいこうと思ったら、この「テニピン」のようなラケットがとても有効である。今回は、勤務校で4年生も実施した。今後10・17のTOSS東海フレッシュ体育セミナーで「テニピン」を先生方に紹介し、愛知・東海地方に広める予定である。</p>		

以下についても御協力御願います。

- 1) 指導案
- 2) 児童感想文（ホームページに掲載可能なもの）
- 3) 写真2枚程度（ホームページに掲載可能なもの）

テニピン学習指導案

愛西市立西川端小学校 佐藤貴子

- 1 単元 テニピン
- 2 対象学年 5年生40名
- 3 単元の目標
 - ① 簡単なルールにしたゲームで、チームで攻撃と守備ができるようになる。
 - ② ルールを工夫したり、作戦を立てたり、考えたりしたことを友達に伝えよう。
 - ③ 友達と助けあって運動したり、場や用具の安全に気を配ったりしよう。
- 4 単元構造

段階	学習内容	留意点
ステップ1 ゲームの仕方を知り、ボールをうまく打てるようになる。	第1時 ・テニピンについて知る。 ・用具について知る。 ・1人でのボール操作をする。 ・2人組での交代打ちをする。	・テニスとピンポン（卓球）を組み合わせたものであることを教える。 ・教師が入り、簡単なゲームを見せ、最終場面をイメージさせる。 ・用具の使い方を教える。 ・一人で、ラケットにあてて、何回続くかをおこなわせる。最初は、座って、小さなバウンドで。次は立って行う。 ・2人組を作らせ、ボールを弾ませ、相手のところに打つ練習をさせる。（サーブ練習） ・始めは近くから行

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2人組での打ち合いをする。 <p>第2時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人組の交代打ちをする。 ・ 2人組の打ち合いをする。 <p>・ ゲームのルールを知る。</p> <p>第3時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人組での交代打ちをする。 	<p>う。慣れてきたら、距離を離していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 打つときは、ボールが来る方を向き、ラケットの真ん中に、「パーン」と当てることを教える。 ・ 続けて打つ練習をさせる。 ・ 回数は少なくても、続けて打てたことをほめる。 ・ 2バウンドまで、OKで打たせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回とペアを変え、 ・ 何回続けたか、回数を数えながら打つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人对2人で交代しながら、打つことを、見本を示しながら教える。 ・ 最初4回打ってから、得点になることを教える。 ・ サーブは1回失敗しても、もう1回できる。 <p>サーブは交代交代で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コートは、バドミントンコートを利用する。 ・ 前回とペアを変え、練習する。
--	---	--

	・テニピンの感想を発表する。	・テニピンの感想を発表させる。

<児童感想・日記より>

- 私は1時間目の体育の時にテニピンをしました。テニピンはとても難しく、なかなか続きませんでした。一緒のチームの山内ひなちゃんとたくさん練習をがんばっていました。この日は、2組のチームと対戦しました。ひまりちゃんともねちゃんのチーム、墨と君と隼人君のチームでした。2組のチームは、上手で、どちらからも負けてしまいました。ひまりちゃんたちとやったときは、2対1で負けて、墨と君たちとやったときは、1対0で負けて、くやしかったです。1回は勝ちたいと思いました。だから、練習をがんばります。
- 私は、2時間目の体育でテニピンをやりました。今回で3回目です。お手下本で、とあ君とともき君がやっていて、ずっとラリーが続いていて、すごいなと思いました。私とさきほちゃんのチームでひまりちゃんともねちゃんチームと対戦しました。もねちゃんとひまりちゃんは、サーブがとても上手でした。私が失敗してしまったときに、さきほちゃんが、「どんまい」と言ってくれました。私は、さきほちゃんといっしょのチームでよかったなと思いました。
- テニピンをしました。今日は、初めて相手と勝負をしました。私たちの番が来て、やりました。打ったけど、ネットより遠くに行かず、点数がとれませんでした。4対1で負けました。私的には、もう少し、リズムよく打てるようにがんばりたいです。

